

胃・大腸がん集団検診の実施時期が変わります

平成29年度の胃・大腸がん集団検診は、住民健診実施時期に行います。昨年度まで9月に行っていた胃・大腸がん検診ですが、一度に複数の健診が受診できるように、今年度は住民健診実施と同時に、6、7月に行います。がん検診を希望する方は、事前に登録が必要ですので、健康こども課までお申込ください。なお、平成27、28年度のどちらかで受診した方は登録されていますので、申込不要です。

【胃・大腸がん集団検診】

対 象 町内に住民登録をされている40歳以上の方

日 程 6月19日(月)、21日(水)、26日(月)、27日(火)、29日(木)、30日(金)、7月9日(日)、10日(月)
 ※7月9日(日)は、住民健診はありません。胃・大腸がん検診のみ実施します。

申込期限 4月28日(金)

申込の流れ

胃がん(40歳以上)
 大腸がん(40歳以上)
 乳がん(30歳以上女性)
 子宮がん(20歳以上女性)

平成27、28年度ともがん検診を受けていない方

平成27、28年度のどちらかでがん検診を受けた方

申込必要
 健康こども課へ電話またはFAXでお申込ください。

※住所、氏名、生年月日と希望のがん検診を記入してください。

申込不要
 検診の約1か月前に問診票が届きます。

※それぞれのがん検診で登録が必要です。

申問健康こども課健康づくり班 ☎82-3400 FAX80-1262

稲作農家のみなさんへ

安定した収入を受けられる「飼料用米」に取組みましょう!

食生活の変化などにより米の需要は全国で毎年減少しています。生産量が需要を上回ると米価の下落を招きます。飼料用米に取組むことで主食用米の需給改善を図り、安定した収入を確保しましょう。

飼料用米取組みのメリット

- ①飼料工場や畜産農家などに大きな需要があります。
- ②主食用米の需給が改善し、米価回復が期待できます。
- ③水はけの悪い湿田でも作れます。
- ④国や県の支援策が受けられ、安定した収入が確保できます。
- ⑤既存の機械や施設をそのまま使えます。

平成30年産以降の米政策

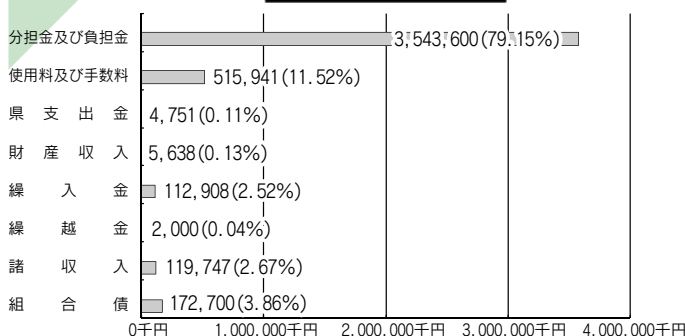
平成30年以降、国による米の生産数量目標の配分はなくなりますが、生産調整をする必要がなくなるわけではありませんので、需要に応じた米生産の継続が必要となります。

問産業振興課農政班 ☎84-1215

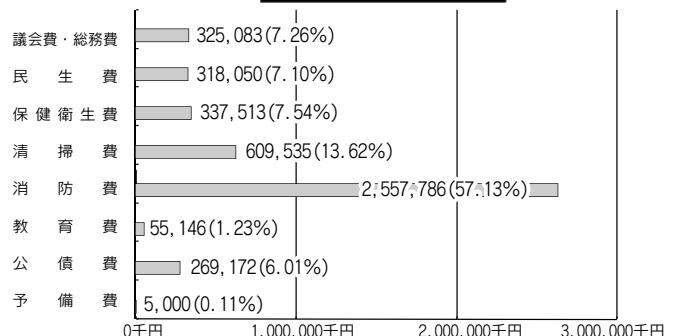
千葉県農林水産部生産振興課水田農業班 ☎043-223-2891

平成29年度 山武郡市広域行政組合予算

歳入総額4,477,285千円



歳出総額4,477,285千円



問山武郡市広域行政組合企画財政課 ☎0475-54-0252